

④ 鑄鉄製スピーカーを前に「ポリウムを小さくしても音の質感は変わらない」と語る白井社長⑤ エフ・イーが開発したステンレス製の自動皮むき機。佐々木社長は「構造はとてもシンプルなんです」と話す



## ものづくり大賞

# 旭川の2社優秀賞

鑄鉄スピーカー製造 白井鑄鉄工業  
根菜類自動皮むき機開発 エフ・イー

ものづくりに携わるなど主催の優秀賞に、優秀な企業や人材をた 鑄鉄製スピーカーを製造、販売する白井鑄鉄の2社が、道北地方か「ものづくり日 造、販売する白井鑄鉄の2社が、道北地方か本大賞」(経済産業省「工業(旭川)と、根菜ら選ばれた。最高賞か

ら数えて4番目の賞で、両社は28日に札幌で表彰を受ける。

白井鑄鉄工業のスピーカーは、鑄鉄の中で強度の高いタクタイル鑄鉄を採用。箱になぎ目のない一体成型の構造が特徴で、木製スピーカーと比べ振動

がこもりにくく、切れのある音を実現した。

価格は1組15万〜70万円、商品化した2002年から約200

個を販売。スピーカーの音を知ってもらうため、昨年3月に同社に開設したギャラリー(旭川市永山町6)には1千人以上が訪れた。

白井憲之社長は「自分たちが聴いて気持ちいい音を目指し作った。高い評価を頂きう

れしい」と話し、スピーカーの普及や新たな開発に意欲を見せる。

一方、エフ・イーの皮むき機は刃を使わず、ジャガイモやサトイモの皮がむけるのが特徴。直径1センチ程度の丸穴が無数にある回転ドラムの上で根菜を転がし、手で皮をむいたような仕上がりにする。

ジャガイモなら1時間で約500きの皮むきが可能で、1台85

0万円。08年の発売以降、食品加工会社や野菜の皮むきを受注する障害者授産施設などが購入している。

皮むき機は、規格外で廃棄されるイモの皮をむくことで価値を高め、商品にしようと同社が開発。佐々木通彦社長は「今後も人が困っている所に着目し、機械屋としてものづくりに励みたい」と話していた。(木村啓太)

間